

鉄骨工事 Q&A	高力ボルト接合	座金、ナットの裏使用	制定	2011年7月1日
			改訂	2019年4月1日

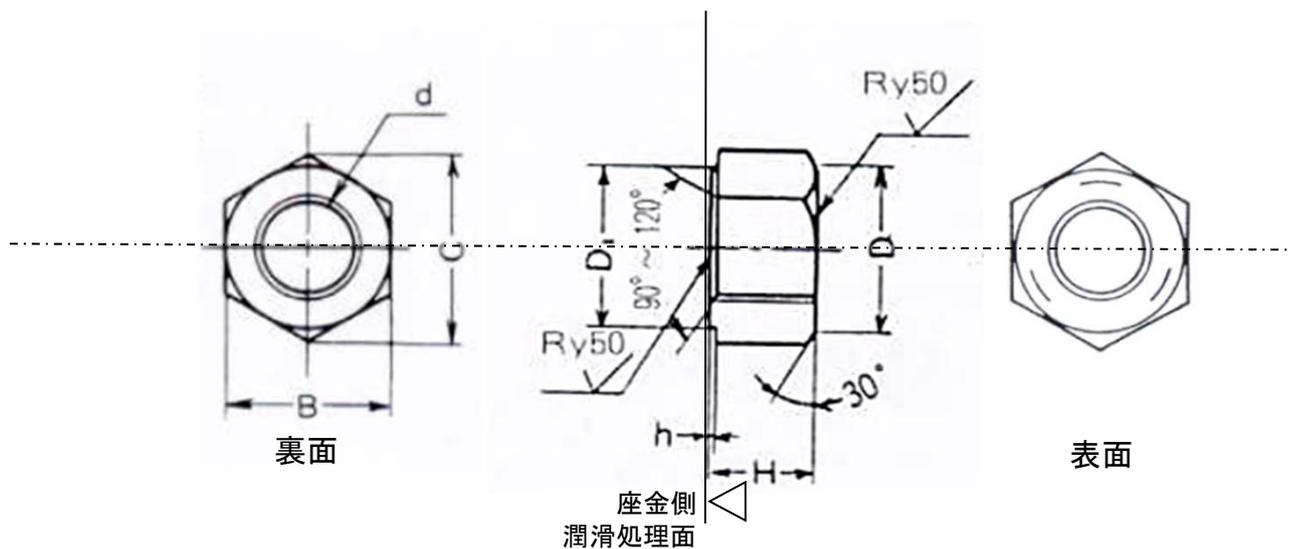
Q. 座金、ナットを裏使用した場合、どのような問題があるのか？

A.

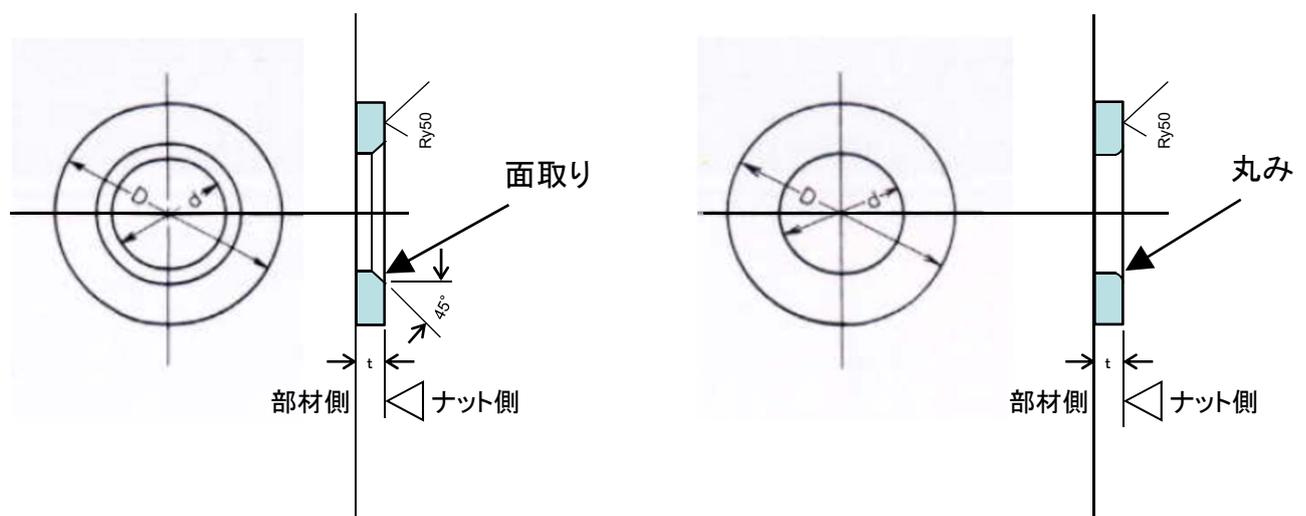
ナット、座金には正しい向きがあります。つまり、ナットは等級マークが外側になるように、座金は内径「面取り」もしくは「丸み」がない側を締付部材側にする必要があります。これらの逆の向きでの使い方を裏使用といいます。

座金や、ナットは、規定のトルク係数値を確保するためにお互いが接する面のあらさを規定しています。また、ナットの座金との接触面は潤滑処理されています。

裏使用しますと、ナットと座金が接する面のあらさの違いで、正規使用の場合と比較し、トルク係数値に影響が生じます。その結果、共回りが発生し、導入軸力がばらつくことがあります。



ナットの取付け方向



座金の取付け方向